

【言語・嚥下障害のある患者の看護】

食事介助で最も適切なものはどれか。

- 1 頸部を後屈した体位にする
- 2 座位時の体幹を安定させる
- 3 食後に嚥下体操を実施する
- 4 こぼさずに摂取できるように全介助する

問2 高齢者の義歯の取り扱いで最も正しいのはどれか。

- 1 就寝前に外す
- 2 保管する時はよく乾燥させる
- 3 熱湯で洗浄する
- 4 総義歯は奥歯を起点に外す

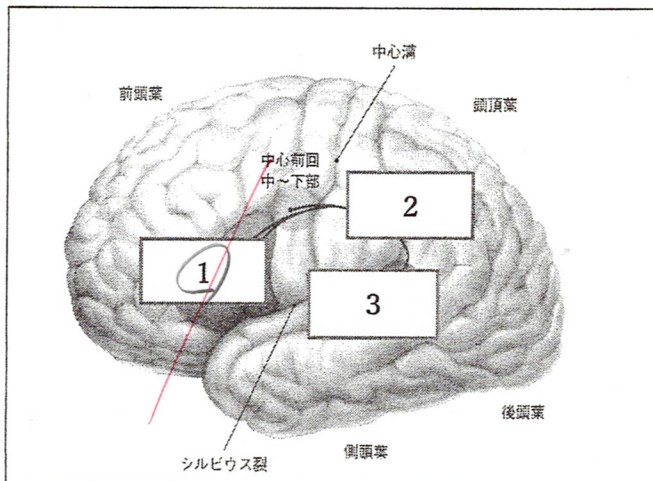
問3 食事について最も適切でないものはどれか。

- 1 患者の覚醒レベルを確認する必要がある
- 2 食後に口腔内や咽頭の残渣を確認する
- 3 入院後、食事を開始するタイミングは、状態に関わらず早ければ早いほど良い
- 4 経過的に、発熱・炎症反応や呼吸状態の変化など、誤嚥徴候の有無を観察する

問4 失語症について誤っているものはどれか。

- 1 失語症とは「話す」「聞く」「読む」「書く」などの言語的側面が障害されている
- 2 言語障害は多様なため患者毎の症状を把握し、話しやすい環境を提供する
- 3 稚拙な話し方をされることがあるが、人格を尊重しコミュニケーションを取る
- 4 外見から症状がわかりやすいため、他者から援助を受けられることが多い

問5 ウェルニッケ失語(感覚性失語)が生じやすい病巣は1~3のうちどれか。○をつけなさい。





問6 次の文を読み問題1～3に答えよ。

Aさん（47歳、男性、会社員）は妻と2人暮らしで、自宅の室内で犬を飼っている。15年前に慢性糸球体腎炎と診断され、徐々に腎機能低下が認められたので、2年前から慢性腎不全のため血液透析療法を週3回受けている。今回、弟から腎臓の提供の申し出があり、生体腎移植の目的で入院した。入院3日、Aさんの生体腎移植手術は予定通り終了した。

問題1

Aさんの手術直後に観察すべき項目で優先度が高いのはどれか。

1. 尿量
2. 血糖値
3. 白血球数
4. シャント音

( 1 )

問題2

Aさんは術前からタクロリムスなど複数の免疫抑制薬を服用している。Aさんは「移植したら免疫抑制薬を飲む必要があることは分かっているのですが、退院後は何に気を付ければよいですか」と看護師に質問した。Aさんへの看護師の説明で適切なのはどれか。

1. 「犬は今まで通り室内で飼育できます」
2. 「グレープフルーツは摂取しないでください」
3. 「感染予防のため風疹のワクチン接種をしてください」
4. 「薬を飲み忘れたときは2回分をまとめて服用してください」

( 2 )

問題3

Aさんは順調に回復し、移植後の拒絶反応もなく退院することになった。Aさんは「腎臓が悪くなってから気を付けないといけないことが多かったのですが、移植してこれまでの制約がなくなりますね」と話した。Aさんの退院後の生活で継続が必要なのはどれか。

1. 蛋白質の摂取制限
2. 週3回の通院
3. 水分の制限
4. 体重の管理

( 4 )